2021 ～ 2025年度卒業時アンケート　　経年比較・分析編

1.回答数

(1)対象者数

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全学部	204[人]	209[人]	248[人]	328[人]	260[人]
薬学部薬学科	51[人]	57[人]	62[人]	48[人]	34[人]
看護学部看護学科	73[人]	80[人]	76[人]	78[人]	46[人]
健康医療科学部作業療法学科		15[人]	28[人]	21[人]	26[人]
健康医療科学部理学療法学科		53[人]	56[人]	61[人]	58[人]
心理学部臨床心理学科		-	26[人]	39[人]	38[人]
国際看護学部看護学科		-	-	81[人]	58[人]

※2021年の全学部には募集停止学科を含む

(2)回答数　　回答者数(回答率)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
全学部	175[人]	(85.8%)	193[人]	(92.3%)	234[人]	(94.4%)	290[人]	(88.4%)	243[人]	(93.5%)
薬学部薬学科	45[人]	(88.2%)	51[人]	(89.5%)	57[人]	(91.9%)	45[人]	(93.8%)	32[人]	(94.1%)
看護学部看護学科	66[人]	(90.4%)	71[人]	(88.8%)	73[人]	(96.1%)	74[人]	(94.9%)	45[人]	(97.8%)
健康医療科学部作業療法学科	-	-	15[人]	(100.0%)	24[人]	(85.7%)	21[人]	(100.0%)	26[人]	(100.0%)
健康医療科学部理学療法学科	-	-	53[人]	(100.0%)	55[人]	(98.2%)	61[人]	(100.0%)	58[人]	(100.0%)
心理学部臨床心理学科	-	-	-	-	25[人]	(96.2%)	38[人]	(97.4%)	36[人]	(94.7%)
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	-	-	51[人]	(63.0%)	46[人]	(79.3%)

※2021年の全学部には募集停止学科を含む

2.設問について

(1)設問１～8、28、29、31の評価方法は、次の重みづけをして平均を求めている。

項目	加点
満足	1.0
どちらかといえば満足	0.5
どちらともいえない	0.0
どちらかといえば不満	-0.5
不満	-1.0

※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない４段階評価としている。

(2)設問１0～23の評価方法は、次の重みづけて加点している。

項目	加点
身についた	1.0
どちらかといえば身についた	0.5
どちらでもない	0.0
どちらかといえば身についていない	-0.5
身についていない	-1.0

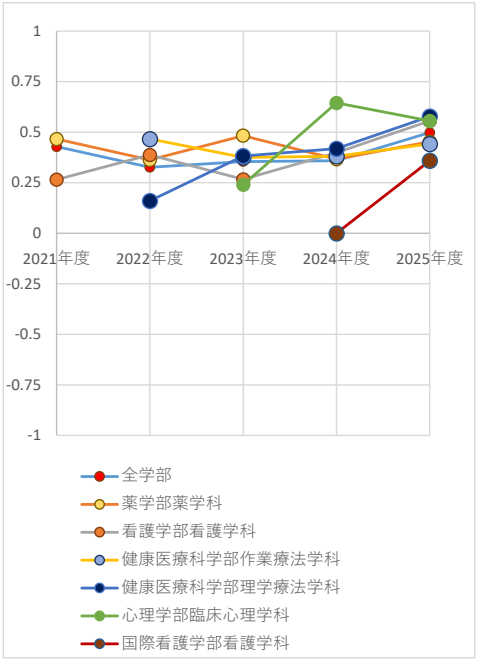
(3)設問32として、2022年度よりNPS(Net Promoter Score)を算出し、これを用いた分析を行っている。

■教育に対する満足度について

1．初年次教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全学部	0.43	0.33	0.35	0.36	0.50
薬学部薬学科	0.47	0.36	0.48	0.37	0.45
看護学部看護学科	0.27	0.39	0.27	0.40	0.56
健康医療科学部作業療法学科	-	0.47	0.38	0.38	0.44
健康医療科学部理学療法学科	-	0.16	0.38	0.42	0.58
心理学部臨床心理学科	-	-	0.24	0.64	0.56
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.00	0.36

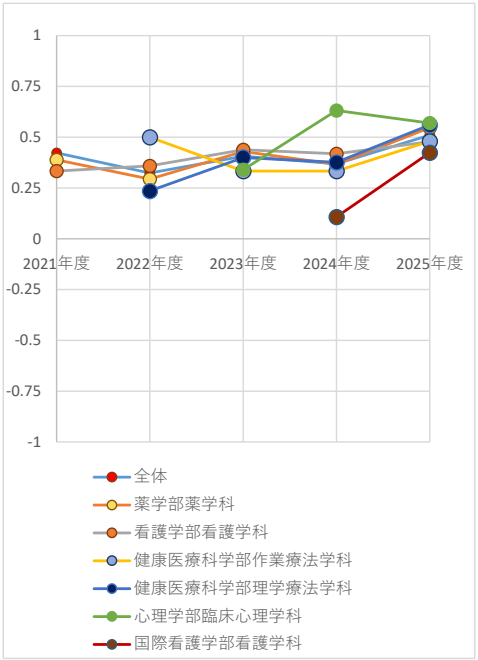
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
　4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



2．一般教養科目について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.42	0.32	0.41	0.37	0.51
薬学部薬学科	0.39	0.29	0.43	0.37	0.55
看護学部看護学科	0.33	0.36	0.44	0.42	0.48
健康医療科学部作業療法学科	-	0.50	0.33	0.33	0.48
健康医療科学部理学療法学科	-	0.24	0.40	0.38	0.56
心理学部臨床心理学科	-	-	0.34	0.63	0.57
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.11	0.42

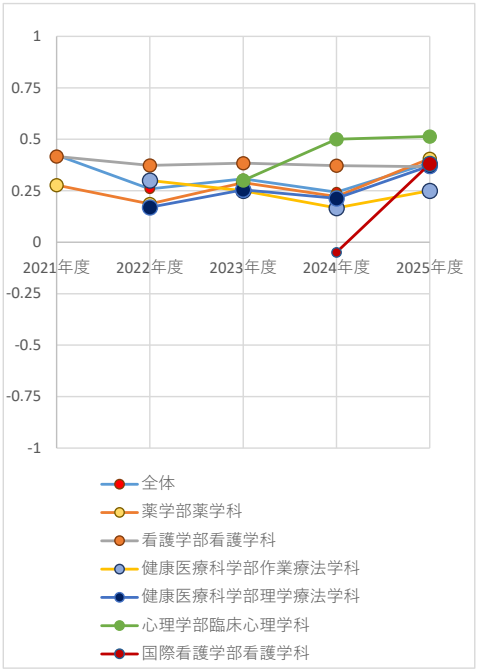
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
　4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



3．外国語科目について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.42	0.26	0.31	0.24	0.38
薬学部薬学科	0.28	0.19	0.29	0.22	0.41
看護学部看護学科	0.42	0.37	0.38	0.37	0.37
健康医療科学部作業療法学科	-	0.30	0.25	0.17	0.25
健康医療科学部理学療法学科	-	0.17	0.25	0.21	0.37
心理学部臨床心理学科	-	-	0.30	0.50	0.51
国際看護学部看護学科	-	-	-	-0.05	0.38

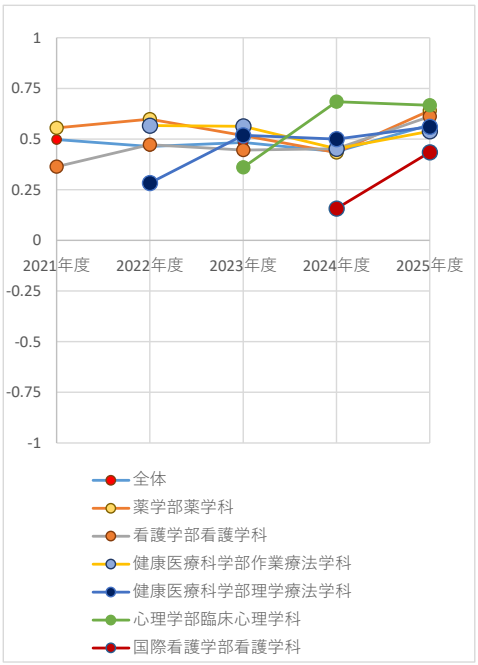
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



4．学部学科の専門教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.50	0.46	0.48	0.44	0.57
薬学部薬学科	0.56	0.60	0.52	0.43	0.64
看護学部看護学科	0.36	0.47	0.45	0.45	0.61
健康医療科学部作業療法学科	-	0.57	0.56	0.45	0.54
健康医療科学部理学療法学科	-	0.28	0.52	0.50	0.56
心理学部臨床心理学科	-	-	0.36	0.68	0.67
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.16	0.43

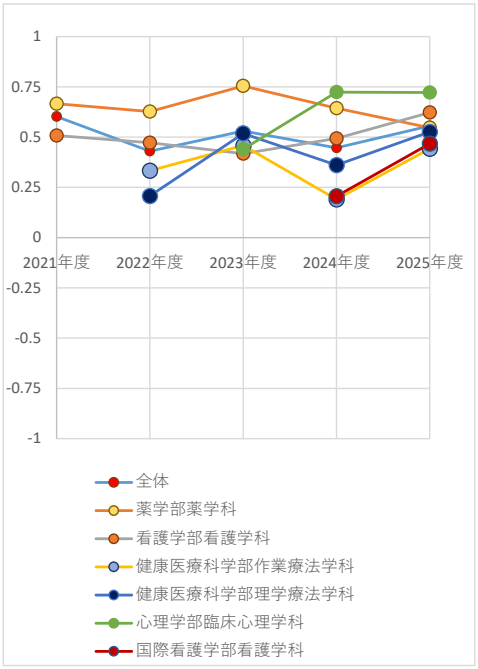
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



5．ゼミナールについて、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.60	0.43	0.53	0.45	0.56
薬学部薬学科	0.67	0.63	0.75	0.64	0.55
看護学部看護学科	0.51	0.47	0.42	0.49	0.62
健康医療科学部作業療法学科	-	0.33	0.46	0.19	0.44
健康医療科学部理学療法学科	-	0.21	0.52	0.36	0.53
心理学部臨床心理学科	-	-	0.44	0.72	0.72
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.21	0.47

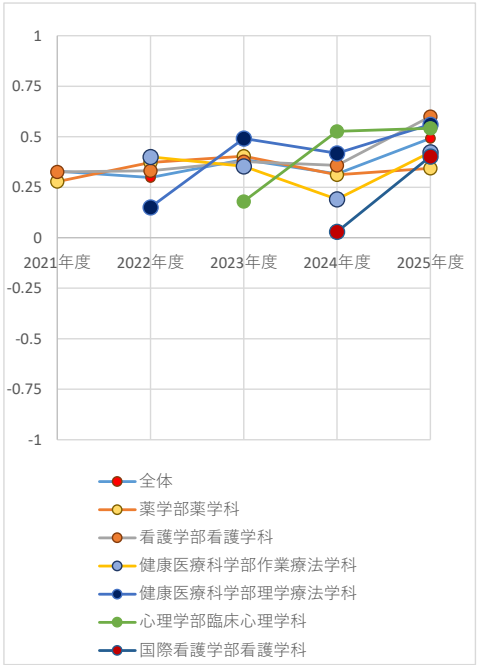
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
　4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



6．キャリア教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.33	0.30	0.39	0.32	0.49
薬学部薬学科	0.28	0.37	0.40	0.31	0.34
看護学部看護学科	0.33	0.33	0.38	0.36	0.60
健康医療科学部作業療法学科	-	0.40	0.35	0.19	0.42
健康医療科学部理学療法学科	-	0.15	0.49	0.42	0.56
心理学部臨床心理学科	-	-	0.18	0.53	0.54
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.03	0.40

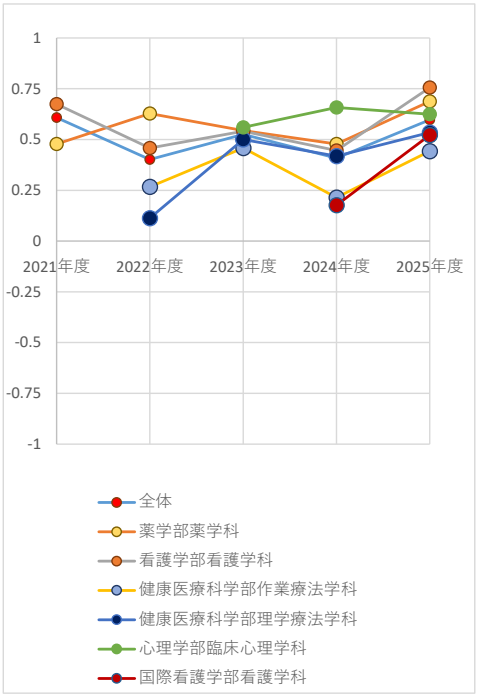
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
　4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



7．卒業研究について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.61	0.40	0.53	0.41	0.60
薬学部薬学科	0.48	0.63	0.54	0.48	0.69
看護学部看護学科	0.67	0.46	0.54	0.45	0.76
健康医療科学部作業療法学科	-	0.27	0.46	0.21	0.44
健康医療科学部理学療法学科	-	0.11	0.50	0.42	0.53
心理学部臨床心理学科	-	-	0.56	0.66	0.63
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.18	0.52

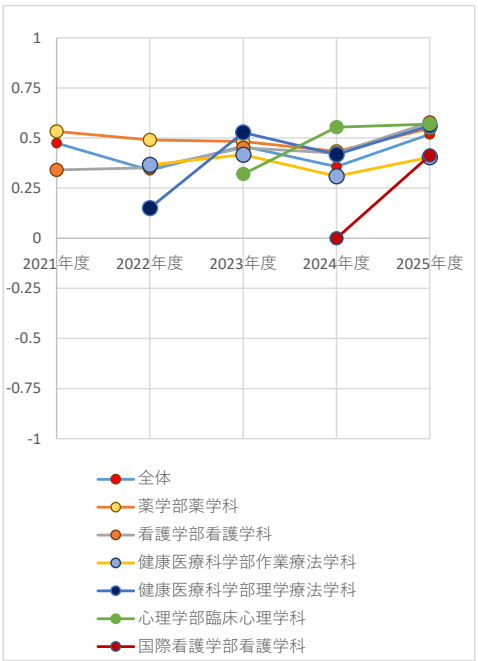
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



8．カリキュラム全般について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.47	0.34	0.46	0.36	0.52
薬学部薬学科	0.53	0.49	0.48	0.43	0.55
看護学部看護学科	0.34	0.35	0.45	0.42	0.58
健康医療科学部作業療法学科	-	0.37	0.42	0.31	0.40
健康医療科学部理学療法学科	-	0.15	0.53	0.42	0.56
心理学部臨床心理学科	-	-	0.32	0.55	0.57
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.00	0.41

※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



9．設問１～設問８の「教育に対する満足度」について、具体的な内容がありましたら、お書きください。
詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

薬ゼミの有用性: 6年生での薬ゼミの授業は国試に向けて絶対必要だと感じた。
教授陣の評価: 他の大学より学生の数に対して教授の人数が多いため、覚えてもらいやすく質問しに行きやすかった。
資格取得支援: 資格を取るにあたって必要なことを分かりやすく教えてくれた。
学習環境: 質問があれば気軽く言える環境が良かった。
国試対策の指摘: 国試に受かるための勉強とそうでない勉強は分けてやるべきだと思う。教授の趣味みたいな問題を国試の直前に解かされるのは無駄だと思う。

看護学部 看護学科

カリキュラムの満足度: カリキュラム全体に満足しており、特にキャリア関係以外の分野での満足度が高い。
学習環境と支援: 生徒が困った際に手を差し伸べてくれる制度が整っており、学生と教員の心理的な距離が近く、指導を受けやすいと感じている。
他学部との交流: 他学部との交流の機会がもう少し欲しかったと感じている。
学習環境の改善点: より厳しい環境で学びたかったと感じている。
国試対策の指摘: 新出題基準の学習や受験年の統計情報を、国試前（受験3～4ヶ月前）に再確認できると良いと考えており、国試に直結する内容の授業をもっと早い段階から取り入れてほしいと感じている。
授業内容の改善点: 一部の講義で、世間話が多く、グループ学習や発表の機会が少ないと感じている。
外国語科目の評価: 卒業研究は役立ったが、外国語科目はコロナ禍でのオンライン授業が効果的でなかったと感じている。
学びの姿勢と成長: 看護に必要な基礎知識は定着したが、学びの姿勢がある人は成長が著しいと感じており、教員や支援環境が成長を支えていると感じている。

健康医療科学部 作業療法学科

学習環境の評価: 実習は楽しかった。
質問しやすい環境: 質問がしやすい環境だった。
専門知識の習得: 臨床につながる専門的な知識を学ぶことができた。
進級・卒業試験に関する不満: 留年条件を満たしている学生が進級できることや、卒業試験・再試験の合格基準に対する不満があった。

健康医療科学部 理学療法学科

学習環境と支援: 先生との距離が近く、質問がしやすい環境が整っており、教員が優しく、サポートが手厚い。
カリキュラムと授業内容: 専門教育において、実技演習や臨床実習を通して実践的に学ぶことができ、自身の成長を実感できた。
グループワークと友人との学習: グループワークが充実しており、友人と共に勉強する機会があった。
専門用語の理解と授業内容の改善点: 専門用語が多く、理解するのが難しく、解剖学、生理学、運動学の授業では、実践に繋げた知識が欲しかった。
国家試験対策の改善点: 一年生の頃から国家試験勉強に慣れておきたかった。
グループワークの負担: 4年からの大人数のグループワークが辛かった。

心理学部 臨床心理学科

学習環境と支援: 指導教員が親身で、授業も分かりやすく、質問しやすい環境が整っている。
カリキュラムと授業内容: 専門的な知識を深く学べ、医療や福祉の分野も幅広く学ぶことができ、就職の視野が広がった。
学習環境の改善点: コロナの影響でリモートと対面の講義が混在し、課題提出の時間が十分でないなど、学習環境に改善の余地があった。
学習環境の評価: 教員によって満足度は変わるが、先生たちは話しやすく、就職の相談や授業で分からない点を分かりやすく教えてくれた。

国際看護学部 看護学科

学習環境と支援: ゼミでは、外部の先生から専門的で国試に頻出の内容を受講でき、先生達との距離が近く、なんでも聞ける環境で学べた。
カリキュラムと授業内容: 専門的な知識を深めることができ、授業の内容やペースが個人に合っていた。
学習環境の改善点: 国試前の1週間に1年生の地域実習と重なり、サポート教員が不足し、4年生のためのサポートが不足していた。
授業内容の改善点: 教員によって授業の内容が異なり、学びが浅い授業もあった。
学習環境の評価: チューター制度が設けられており、相談しやすい環境が助かった。
授業内容の評価: 授業が分かりやすく、準備がよくできていた。
学習環境の改善点: 卒論の書き方が担当教員によって異なり、指導方針の統一が必要と感じた。
学習環境の評価: 全体的に満足しており、4年間の大学生活を不満なく過ごせた。

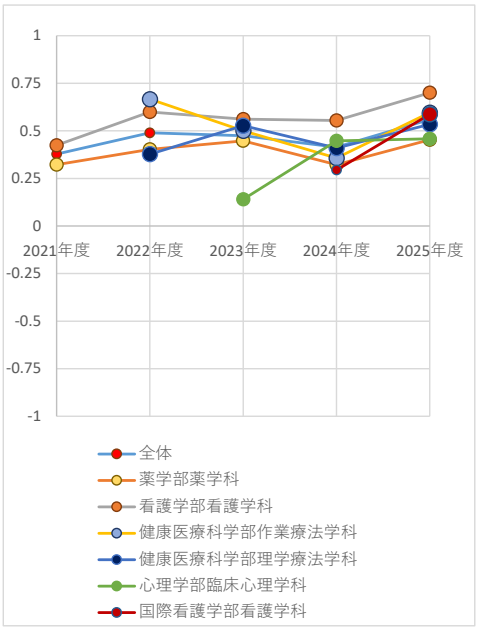
■身につけた力について

設問１０.～２３.の各項目について、在学中に身についたかどうかの度合いを該当する番号から選択してください。

１０. チームワーク、リーダーシップ

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.38	0.49	0.47	0.41	0.56
薬学部薬学科	0.32	0.40	0.45	0.32	0.45
看護学部看護学科	0.42	0.60	0.56	0.55	0.70
健康医療科学部作業療法学科	-	0.67	0.50	0.36	0.60
健康医療科学部理学療法学科	-	0.38	0.53	0.41	0.53
心理学部臨床心理学科	-	-	0.14	0.45	0.46
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.29	0.59

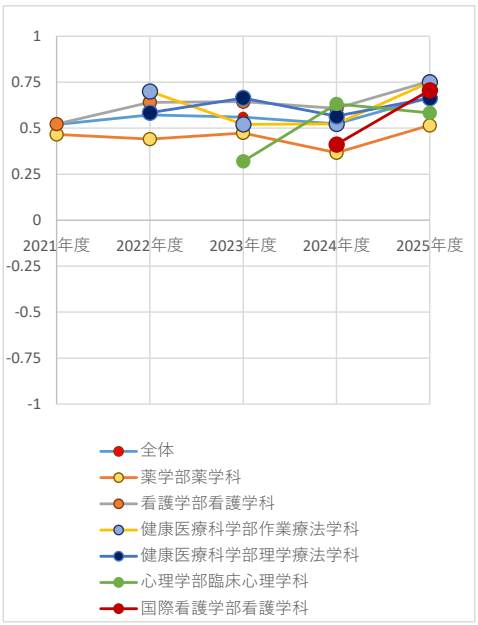
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１１. コミュニケーション能力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.52	0.57	0.56	0.52	0.67
薬学部薬学科	0.47	0.44	0.47	0.37	0.52
看護学部看護学科	0.52	0.64	0.64	0.61	0.76
健康医療科学部作業療法学科	-	0.70	0.52	0.52	0.75
健康医療科学部理学療法学科	-	0.58	0.66	0.57	0.66
心理学部臨床心理学科	-	-	0.32	0.63	0.58
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.41	0.71

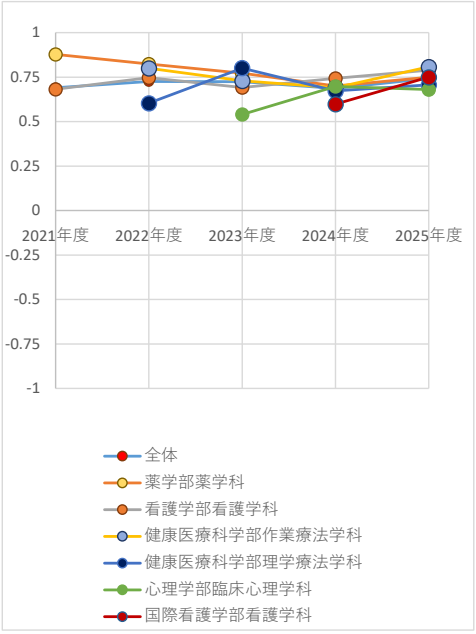
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１２．専門的な知識

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.69	0.73	0.72	0.69	0.74
薬学部薬学科	0.88	0.82	0.77	0.70	0.75
看護学部看護学科	0.68	0.75	0.69	0.74	0.79
健康医療科学部作業療法学科	-	0.80	0.73	0.69	0.81
健康医療科学部理学療法学科	-	0.60	0.80	0.67	0.71
心理学部臨床心理学科	-	-	0.54	0.70	0.68
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.60	0.75

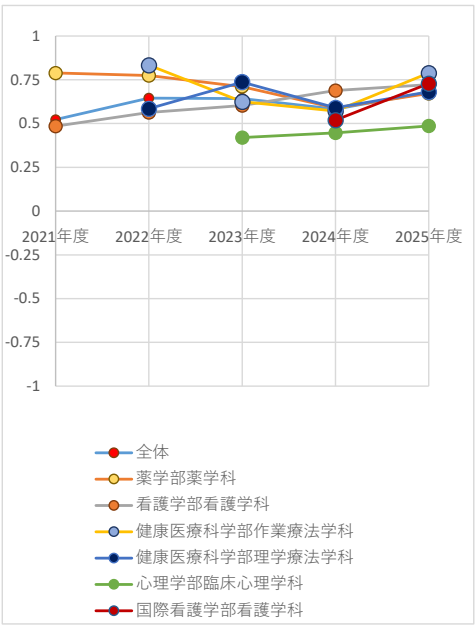
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１３．専門的な技術や技能

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.52	0.65	0.64	0.58	0.68
薬学部薬学科	0.79	0.77	0.71	0.59	0.67
看護学部看護学科	0.48	0.56	0.60	0.69	0.72
健康医療科学部作業療法学科	-	0.83	0.63	0.57	0.79
健康医療科学部理学療法学科	-	0.58	0.74	0.59	0.68
心理学部臨床心理学科	-	-	0.42	0.45	0.49
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.52	0.73

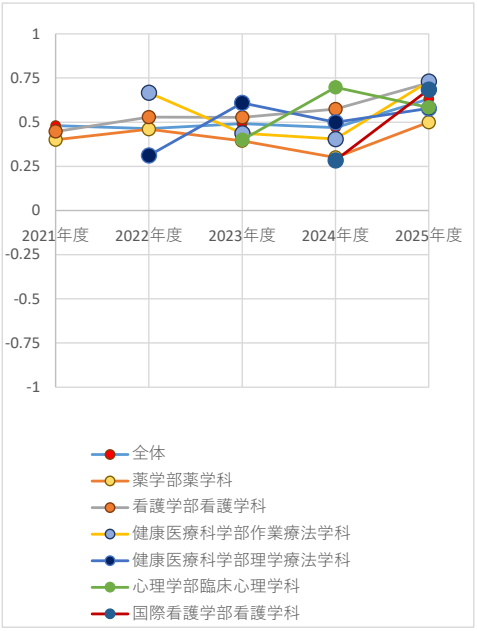
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１４. 幅広い教養、一般的知識

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.48	0.46	0.49	0.47	0.63
薬学部薬学科	0.40	0.46	0.39	0.30	0.50
看護学部看護学科	0.45	0.53	0.53	0.57	0.72
健康医療科学部作業療法学科	-	0.67	0.44	0.40	0.73
健康医療科学部理学療法学科	-	0.31	0.61	0.50	0.58
心理学部臨床心理学科	-	-	0.40	0.70	0.58
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.28	0.68

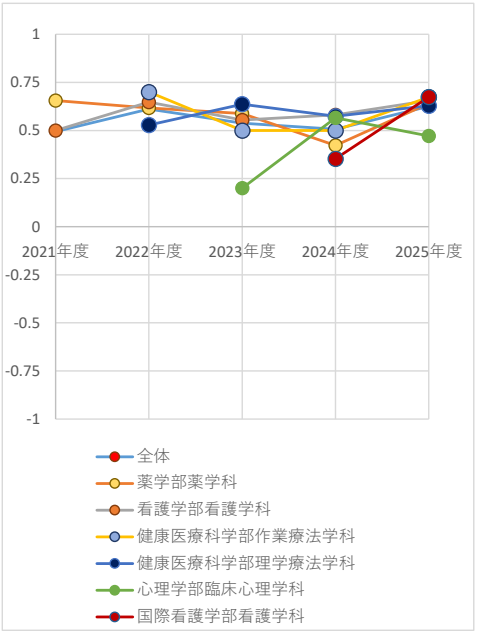
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１５. 学習習慣、自己啓発力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.49	0.61	0.54	0.51	0.63
薬学部薬学科	0.66	0.62	0.59	0.42	0.64
看護学部看護学科	0.50	0.65	0.55	0.58	0.66
健康医療科学部作業療法学科	-	0.70	0.50	0.50	0.67
健康医療科学部理学療法学科	-	0.53	0.64	0.57	0.63
心理学部臨床心理学科	-	-	0.20	0.57	0.47
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.35	0.67

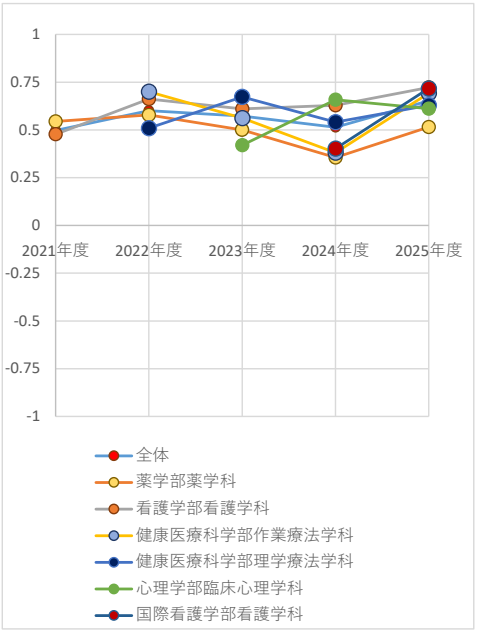
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１６．自己理解、自己管理能力、主体的行動力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.50	0.60	0.57	0.51	0.65
薬学部薬学科	0.54	0.58	0.50	0.36	0.52
看護学部看護学科	0.48	0.66	0.61	0.63	0.72
健康医療科学部作業療法学科	-	0.70	0.56	0.38	0.69
健康医療科学部理学療法学科	-	0.51	0.67	0.54	0.63
心理学部臨床心理学科	-	-	0.42	0.66	0.61
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.40	0.72

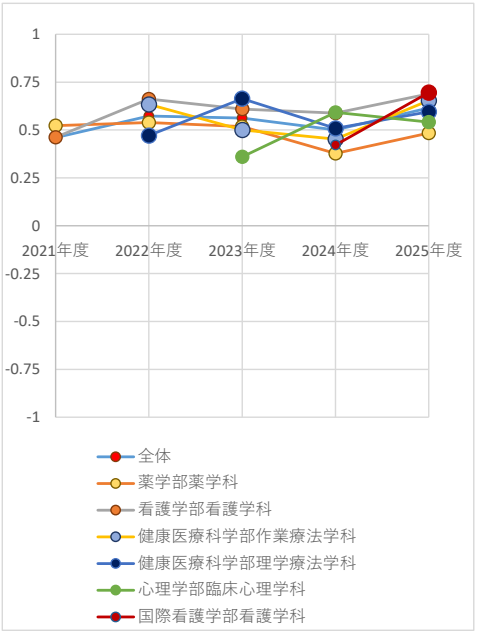
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１７．課題（問題）発見能力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.46	0.57	0.56	0.50	0.62
薬学部薬学科	0.52	0.54	0.52	0.38	0.48
看護学部看護学科	0.46	0.66	0.61	0.59	0.69
健康医療科学部作業療法学科	-	0.63	0.50	0.45	0.65
健康医療科学部理学療法学科	-	0.47	0.66	0.51	0.59
心理学部臨床心理学科	-	-	0.36	0.59	0.54
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.42	0.70

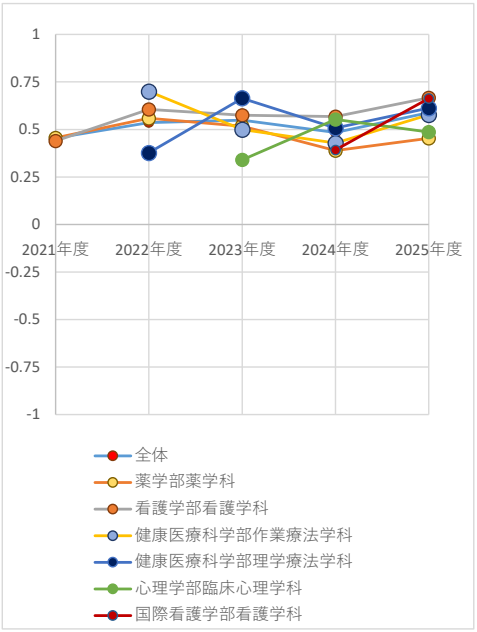
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１８. 課題（問題）解決能力、企画力、計画力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.45	0.54	0.55	0.48	0.59
薬学部薬学科	0.46	0.56	0.52	0.39	0.45
看護学部看護学科	0.44	0.61	0.58	0.57	0.67
健康医療科学部作業療法学科	-	0.70	0.50	0.43	0.58
健康医療科学部理学療法学科	-	0.38	0.66	0.51	0.61
心理学部臨床心理学科	-	-	0.34	0.55	0.49
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.39	0.66

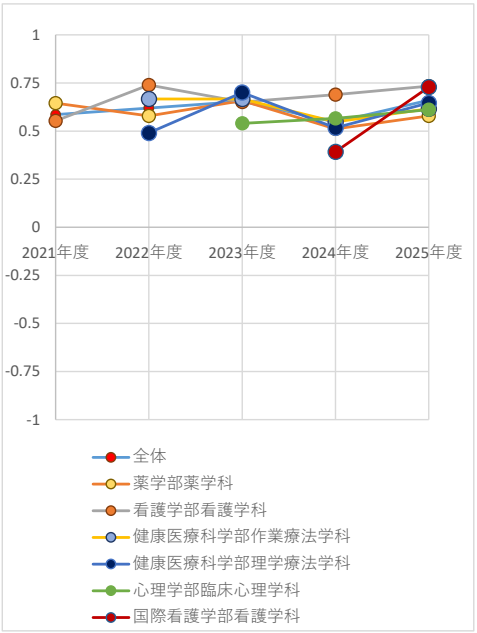
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



１９. 倫理観、モラル、コンプライアンス

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.59	0.62	0.65	0.55	0.66
薬学部薬学科	0.64	0.58	0.66	0.51	0.58
看護学部看護学科	0.55	0.74	0.65	0.69	0.73
健康医療科学部作業療法学科	-	0.67	0.67	0.55	0.62
健康医療科学部理学療法学科	-	0.49	0.70	0.52	0.65
心理学部臨床心理学科	-	-	0.54	0.57	0.61
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.39	0.73

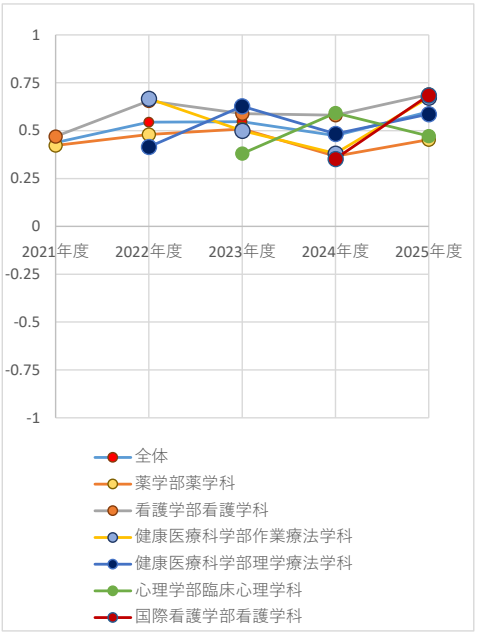
※2021年の全学部には募集停止学科



２０．創造的、論理的思考力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.44	0.54	0.55	0.47	0.60
薬学部薬学科	0.42	0.48	0.51	0.37	0.45
看護学部看護学科	0.47	0.65	0.59	0.58	0.69
健康医療科学部作業療法学科	-	0.67	0.50	0.38	0.67
健康医療科学部理学療法学科	-	0.42	0.63	0.48	0.59
心理学部臨床心理学科	-	-	0.38	0.59	0.47
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.35	0.68

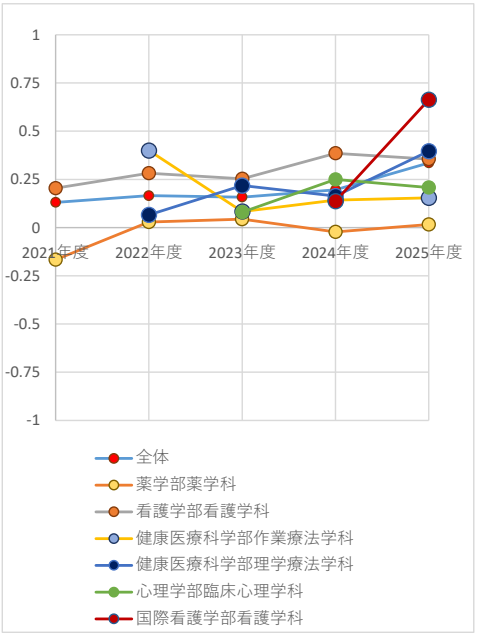
※2021年の全学部には募集停止学科



２１．国際感覚、異文化理解力、外国語運用能力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.13	0.17	0.16	0.20	0.34
薬学部薬学科	-0.17	0.03	0.04	-0.02	0.02
看護学部看護学科	0.20	0.28	0.25	0.39	0.36
健康医療科学部作業療法学科	-	0.40	0.08	0.14	0.15
健康医療科学部理学療法学科	-	0.07	0.22	0.16	0.40
心理学部臨床心理学科	-	-	0.08	0.25	0.21
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.14	0.66

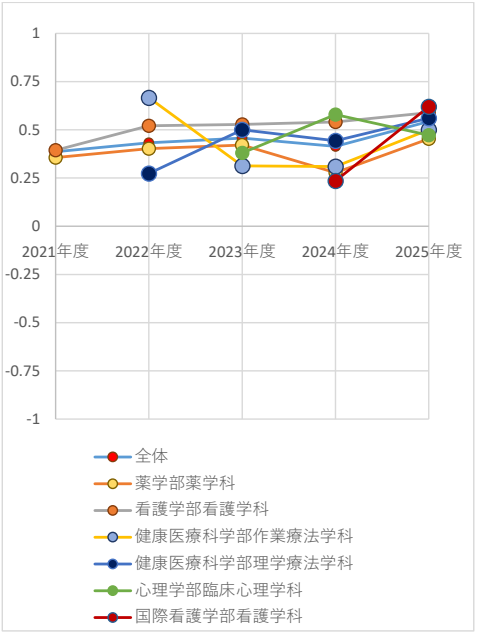
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



２２．読解力、文章表現力、数的処理能力

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.39	0.43	0.46	0.41	0.54
薬学部薬学科	0.36	0.40	0.42	0.28	0.45
看護学部看護学科	0.39	0.52	0.53	0.54	0.59
健康医療科学部作業療法学科	-	0.67	0.31	0.31	0.50
健康医療科学部理学療法学科	-	0.27	0.50	0.44	0.56
心理学部臨床心理学科	-	-	0.38	0.58	0.47
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.24	0.62

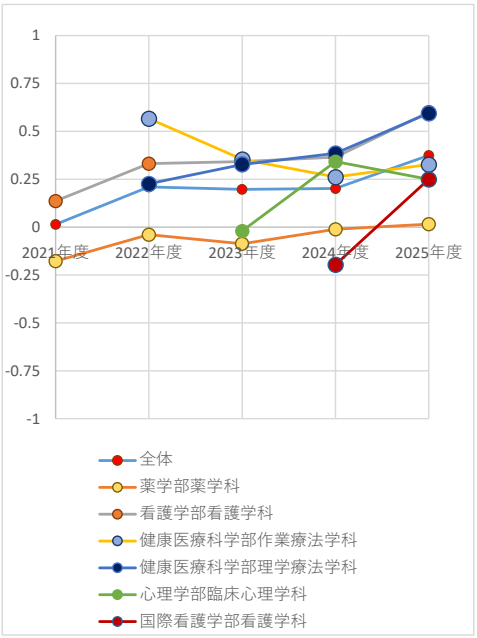
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



２３．ボランティア活動

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.01	0.21	0.20	0.20	0.37
薬学部薬学科	-0.18	-0.04	-0.09	-0.01	0.02
看護学部看護学科	0.14	0.33	0.34	0.36	0.60
健康医療科学部作業療法学科	-	0.57	0.35	0.26	0.33
健康医療科学部理学療法学科	-	0.23	0.33	0.39	0.59
心理学部臨床心理学科	-	-	-0.02	0.34	0.25
国際看護学部看護学科	-	-	-	-0.20	0.25

※2021年の全学部には募集停止学科を含む



２４．上記、設問９～２３の「身につけた力」について、具体的な内容がありましたら、お書きください。
詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部　薬学科

特になし。

看護学部　看護学科

主体性と学習能力: 主体性を持ち、学びを吸収する力を身につけた。
コミュニケーション能力: 患者とのコミュニケーション能力を高めた。
観察力と判断力: 周囲の状況を適切に把握し、相手を理解する力、観察力、判断力、コミュニケーション力を身につけた。
地域貢献の姿勢: 地域の課題に合わせたボランティア活動を主体的に取り組んだ。

健康医療科学部　作業療法学科

課題発見と解決能力: 座学、実技、実習を通じて、課題を見つけ出し、それらを解決する手段を考え抜く力を身につけた。

健康医療科学部　理学療法学科

コミュニケーション能力: コミュニケーション能力を身につけた。
医療知識: 医療知識を身につけた。

心理学部　臨床心理学科

コミュニケーション能力の向上: 高校時代よりもコミュニケーション能力が向上し、グループワークやサークル活動を通じて他の学生と協力し、以前より人としっかり話せるようになった。
レポート作成能力の向上: レポートを書く力が向上した。
リーダーシップとコミュニケーション能力の向上: 部活・サークル活動で部長を務める中で、リーダーシップやコミュニケーション能力など、自分の力を伸ばすことができた。

国際看護学部　看護学科

コンプライアンスと倫理観の重要性: コンプライアンスの大切さや倫理観を大切にする理由を学び、国際的な視野を得ることができた。
ボランティア活動の実践: 学校や実習で学んだことをボランティア活動を通じて実践することができた。
ボランティア情報の周知方法の改善点: サークルに入っていなくても、学生全体にボランティアの情報を掲示板やポスター、メールなどで知らせてほしかった。
国際看護の実習体験: 現地に行き、日本との違いやその国の特徴を肌で学ぶことができた。
異文化理解と文化尊重: 他国の文化を学び、文化を尊重する力を身につけた。
広報委員会でのリーダーシップ: 広報委員会の活動を通じて、リーダーシップを身につけた。
異文化理解力の向上: 異文化理解力が身についた。

２５．上記、設問９～２３の項目以外で在学中に身につけることができたと思うことがありましたらをご記入ください。
詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部　薬学科

特になし。

看護学部　看護学科

リーダーシップとチームワーク: ボランティアや学園祭実行委員会などに参加し、リーダーシップ能力やチームワークの重要性を学んだ。

健康医療科学部　作業療法学科

該当記述なし

健康医療科学部　理学療法学科

考え方の多様性: 物事に対する多角的な考え方を身につけた。

コミュニケーション能力: コミュニケーション能力を向上させた。

心理学部　臨床心理学科

Excelの知識: Excelの知識を習得した。

国際看護学部　看護学科

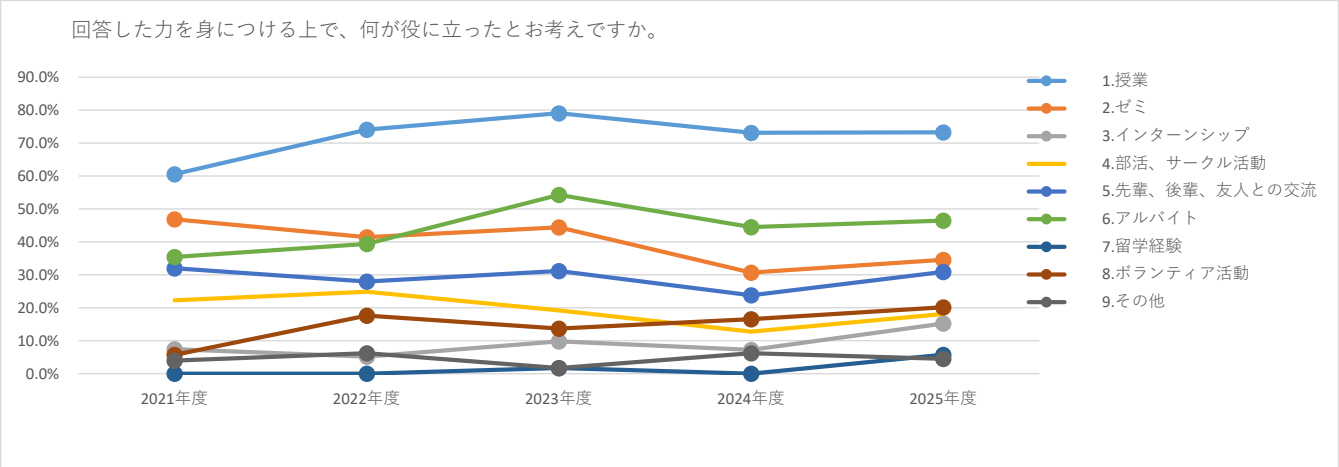
積極性: ボランティア活動を通じて積極性を高めた。

忍耐力と集中力: 忍耐力と集中力を養った。

２６. 上記問９～問２５で回答した力を身につける上で、何が役に立ったとお考えですか。（複数回答可）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
1.授業	106[人]	60.6%	143[人]	74.1%	185[人]	79.1%	212[人]	73.1%	178[人]	73.3%
2.ゼミ	82[人]	46.9%	80[人]	41.5%	104[人]	44.4%	89[人]	30.7%	84[人]	34.6%
3.インターンシップ	13[人]	7.4%	10[人]	5.2%	23[人]	9.8%	21[人]	7.2%	37[人]	15.2%
4.部活、サークル活動	39[人]	22.3%	48[人]	24.9%	45[人]	19.2%	37[人]	12.8%	44[人]	18.1%
5.先輩、後輩、友人との交流	56[人]	32.0%	54[人]	28.0%	73[人]	31.2%	69[人]	23.8%	75[人]	30.9%
6.アルバイト	62[人]	35.4%	76[人]	39.4%	127[人]	54.3%	129[人]	44.5%	113[人]	46.5%
7.留学経験	0[人]	0.0%	0[人]	0.0%	4[人]	1.7%	0[人]	0.0%	14[人]	5.8%
8.ボランティア活動	10[人]	5.7%	34[人]	17.6%	32[人]	13.7%	48[人]	16.6%	49[人]	20.2%
9.その他	7[人]	4.0%	12[人]	6.2%	4[人]	1.7%	18[人]	6.2%	11[人]	4.5%

※2021年の全学部には募集停止学科を含む



※詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

２７. 上記問２６で「その他」を選択した方は、その他、役に立ったことをご記入ください。
詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

該当記述なし

看護学部 看護学科

実習と面談: 実習や先生との面談を通じて学びを深めた。

健康医療科学部 作業療法学科

実習: 実習を通じて専門知識と技術を習得した。

健康医療科学部 理学療法学科

該当記述なし

心理学部 臨床心理学科

オープンキャンパスの学生スタッフ: オープンキャンパスの学生スタッフとして活動し、実践的な経験を積んだ。

国際看護学部 看護学科

国際実習と臨床実習: 国際実習や臨床実習を通じて、異文化理解と専門知識を深めた。

異文化体験: 国際看護学実習Ⅱで異文化の生活を実際に体験し、国際的な視野を広げた。

実習: 実習を通じて看護技術と知識を向上させた。

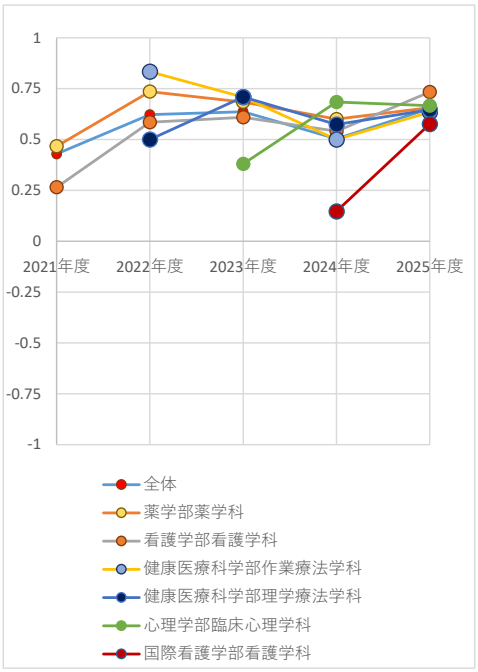
■総合評価

外部の学生との交流: 自発的に他大学や他学部の学生と交流を持つことで、視野を広げることができた。

２８. 所属の学部学科に入って良かったと思いますか？該当する番号を選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.43	0.62	0.64	0.50	0.65
薬学部薬学科	0.47	0.74	0.68	0.60	0.66
看護学部看護学科	0.27	0.58	0.61	0.54	0.73
健康医療科学部作業療法学科	-	0.83	0.71	0.50	0.63
健康医療科学部理学療法学科	-	0.50	0.71	0.57	0.65
心理学部臨床心理学科	-	-	0.38	0.68	0.67
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.15	0.58

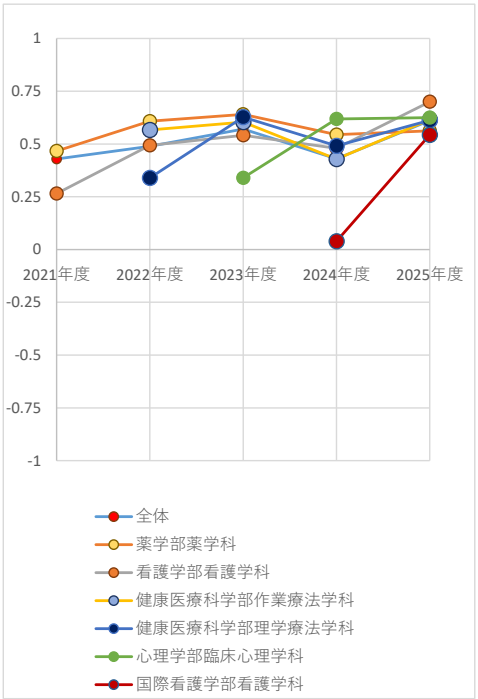
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



２９. 卒業学部学科に対しての満足度をお伺いします。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.43	0.49	0.57	0.43	0.61
薬学部薬学科	0.47	0.61	0.64	0.54	0.56
看護学部看護学科	0.27	0.49	0.54	0.48	0.70
健康医療科学部作業療法学科	-	0.57	0.60	0.43	0.62
健康医療科学部理学療法学科	-	0.34	0.63	0.49	0.61
心理学部臨床心理学科	-	-	0.34	0.62	0.63
国際看護学部看護学科	-	-	-	0.04	0.54

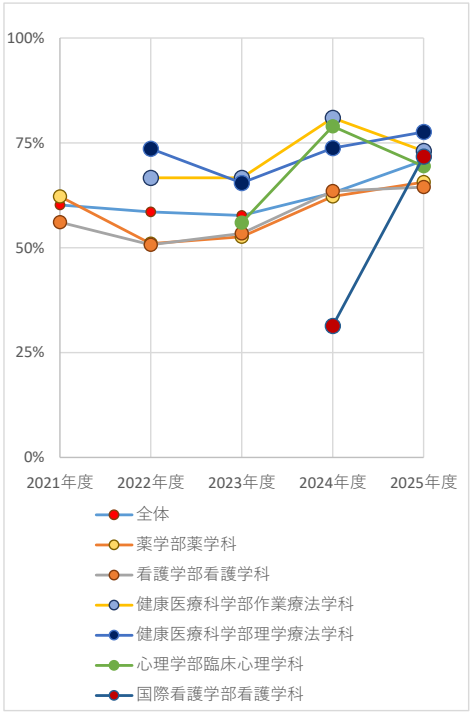
※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学
科を含む



３０. 本学は第一希望の大学でしたか？該当する番号を選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	57.8%	58.5%	57.7%	63.1%	70.8%
薬学部薬学科	62.2%	51.0%	52.6%	62.2%	65.6%
看護学部看護学科	56.1%	50.7%	53.4%	63.5%	64.4%
健康医療科学部作業療法学科	-	66.7%	66.7%	81.0%	73.1%
健康医療科学部理学療法学科	-	73.6%	65.5%	73.8%	77.6%
心理学部臨床心理学科	-	-	56.0%	78.9%	69.4%
国際看護学部看護学科	-	-	-	31.4%	71.7%

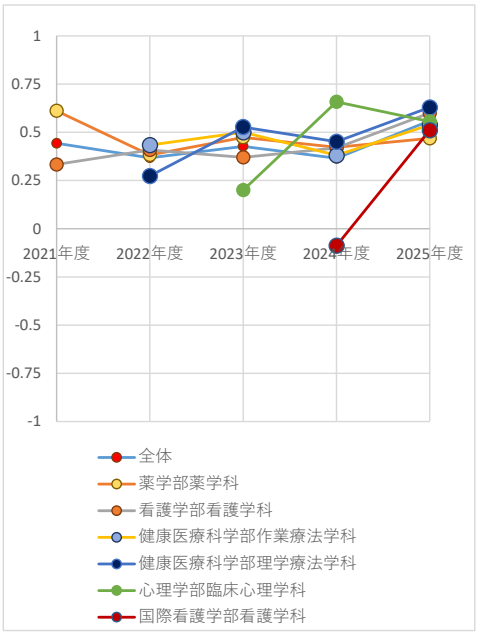
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



３１. 卒業を迎えるにあたり、大学に対する評価を該当する番号から選択してください。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	0.44	0.37	0.43	0.37	0.56
薬学部薬学科	0.61	0.38	0.47	0.42	0.47
看護学部看護学科	0.33	0.41	0.37	0.42	0.60
健康医療科学部作業療法学科	-	0.43	0.50	0.38	0.54
健康医療科学部理学療法学科	-	0.27	0.53	0.45	0.63
心理学部臨床心理学科	-	-	0.20	0.66	0.56
国際看護学部看護学科	-	-	-	-0.09	0.51

※2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
　4段階評価としている。
※2021年の全学部には募集停止学科を含む



生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

満足：「色々とお世話になったので」という謝意・総合的な肯定。

どちらかといえば満足：地方私大ではあるが、薬剤師国家試験に合格できるよう最低限の授業とサポートは提供されていた。

どちらかといえば不満：国試との関連が低い科目（教員の専門分野に偏った内容）がある。

一部教員の対応の平等性に欠ける、学内で挫折した学生へのサポートが基本ない。

不満：学生のマナー問題（試験中の騒音、通行妨害など）。

事務職員の高圧的態度／手続き不備、図書館の開館時間短縮など学修環境への不満。

薬学部廃部方針への強い不信感（国試対策費の削減（模試・薬ゼミ機会減）や説明不足、配布物の紙→PDF化による印刷費負担など「同じ学費なのに待遇が低下した」という強い批判。）

看護学部 看護学科

満足：困難はあったが、友人・先生に恵まれて乗り越えられたという総合的満足。

どちらかといえば満足：学食が安くて美味しいなど学生生活面の評価。

国家試験に合格できそうな自己採点結果で安心している／教育面を肯定。

どちらともいえない：良かった点もあるが、学修面の手応えが弱い（知識が身についた自信がない等）ため評価が定まらない。

どちらかといえば不満：先生は良いがカリキュラムがいまいちなど、運用・構成面への不満。

不満：人間関係が悪い（学年・クラス内の関係等）という強い不満。

健康医療科学部 作業療法学科

どちらかといえば満足：教員と学生の距離が近く、施設も綺麗で学びやすい。

一方で、私生活をもっと充実させたかったという心残りもある。

不満：留留年条件が不明確で「どうにかなる」雰囲気があるため、基準の明確化が必要。

健康医療科学部 理学療法学科

満足：国試対策のグループワークが良かった。

どちらかといえば満足：教員の対応が良い／優しく丁寧に指導してもらえた。

どちらともいえない：突然の授業変更が多く、運用面で落ち着かなさがある。

どちらかといえば不満：設備面の弱さ、連絡の遅さなどが気になる

心理学部 臨床心理学科

満足：授業内容が幅広く学びが充実していた。

学園祭など行事にも楽しく参加でき、大学生活全体に満足。

先生との距離が近く、質問・相談しやすい環境だった。

どちらかといえば満足：やりたいことができ、授業内容も良く学びになった。

不満に感じることが少なく、生活面も含めて充実していた。

どちらともいえない：良い所も悪い所もあり、評価は中立。

国際看護学部 看護学科

満足：国際看護の実習・勉強ができ、様々な経験ができたという評価。

大きな不快事は少なかったという趣旨の記述（※一部、内容のない記述も含む）。

どちらかといえば満足：教育体制は盤石とは言えず、3年次までは教員間の関係性に関する情報が飛び交い不安が大きかった。

ただし4年次に落ち着き、サポート教員を自分で選べた点は良かった。

どちらかといえば不満：新設校ゆえ環境・規則が曖昧だったという指摘。

演習室の鍵運用が不便（返却動線が悪く実習等の限られた時間で負担）。

ネット環境が不安定で学修に支障、学食の机は広いがネットが繋がらない等の不満。

不満：「国際看護」の要素が薄いという強い不満：言語選択が限定、英語が2年で終了、実習で使わない等で“国際を選んだ意味がない”。

その結果、英語力が落ちたという訴え。

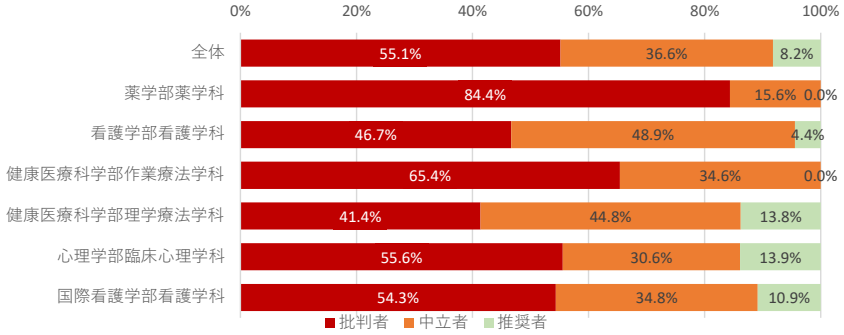
３２. あなたの家族や親類、友人や知人が本学への入学を検討している場合、進学を勧めますか。
10(強く勧める)～0(まったく勧めない) の数値を選択してください。

	2024年度				2025年度				
	批判者 0～6	中立者 7～8	推奨者 9～10	NPS	批判者 0～6	中立者 7～8	推奨者 9～10	NPS	対前年 (NPS差分)
全体	69.3%	25.2%	5.5%	-63.8%	55.1%	36.6%	8.2%	-46.9%	+16.9%
薬学部薬学科	80.0%	15.6%	4.4%	-75.6%	84.4%	15.6%	0.0%	-84.4%	-8.8%
看護学部看護学科	73.0%	21.6%	5.4%	-67.6%	46.7%	48.9%	4.4%	-42.2%	+25.3%
健康医療科学部作業療法学科	76.2%	23.8%	0.0%	-76.2%	65.4%	34.6%	0.0%	-65.4%	+10.8%
健康医療科学部理学療法学科	59.0%	29.5%	11.5%	-47.5%	41.4%	44.8%	13.8%	-27.6%	+20.0%
心理学部臨床心理学科	42.1%	50.0%	7.9%	-34.2%	55.6%	30.6%	13.9%	-41.7%	-7.5%
国際看護学部看護学科	84.3%	15.7%	0.0%	-84.3%	54.3%	34.8%	10.9%	-43.5%	+40.8%

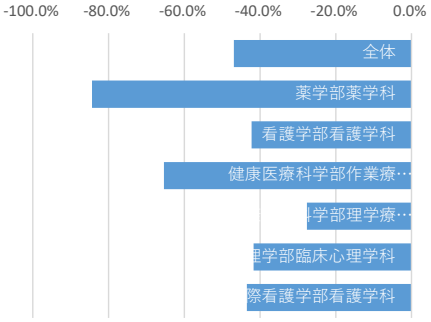
※サンプル数が少ないため、他集団(学年)の予測値としては利用できません。

NPS ＝ 推奨者 － 批判者

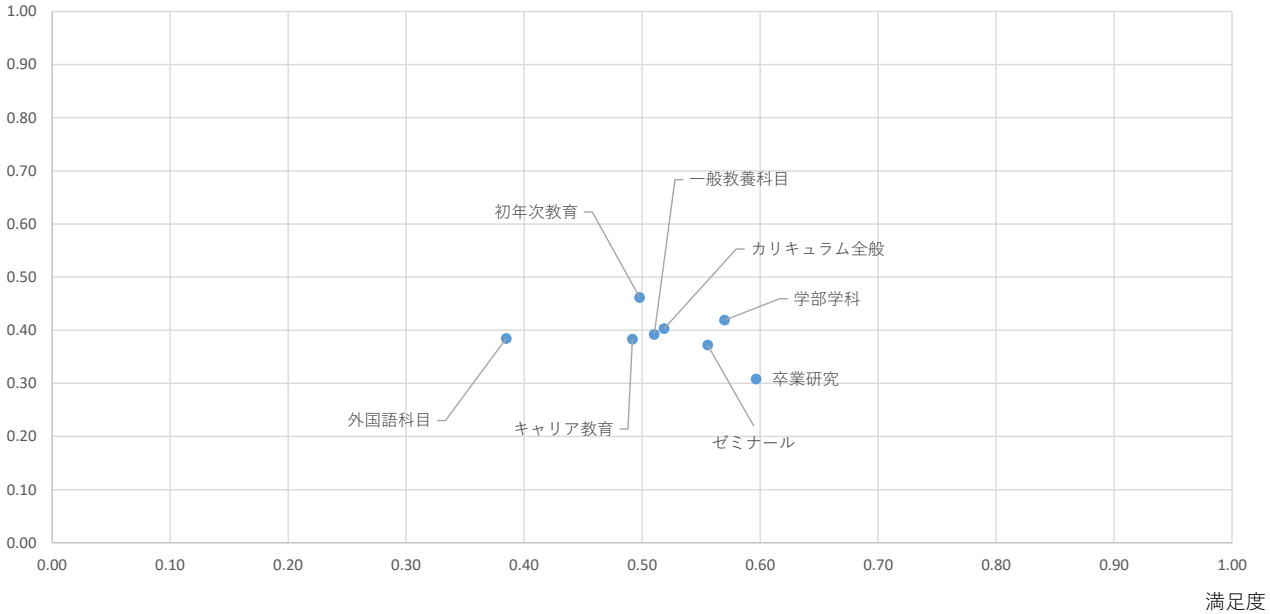
2025年度 回答



2025年度 ＮＰＳ



相関係数



満足度

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

推奨者 (9-10): 学習面での先生たちの手厚いサポートや、薬学部の先生が生徒思いで助けてくれる点を評価し、強く勧める学生がいる。

中立者 (7-8): チューター制度や地元からの通学の利便性を評価しつつ、興味の有無が重要であるとの意見が多数。

批判者 (0-6): 図書館の運営時間や通学バスなどの勉強環境の不足、学部の存続に対する不安、経営・運営陣への不信感、薬学部の閉鎖に関する不満を持つ学生が多い。

看護学部 看護学科

推奨者 (9-10): 先生方のサポートが手厚く、専門的な勉強ができる環境を評価し、強く勧める学生が多い。

中立者 (7-8): 学費の高さや他大学との比較を考慮しつつ、国家試験対策の熱心さや先生方のサポートを評価する意見が多数。

批判者 (0-6): 学費の高さや立地の不便さ、教育やスケジュールの整備不足、学部統合などの変化に対する懸念を持つ学生がいる。

健康医療科学部 作業療法学科

推奨者 (9-10): 勉強や先生へのアクセスの良さ、チューター制度の導入など、学習環境の整備を評価し、強く勧める学生がいる。

中立者 (7-8): 学費の高さや学科の新設による不安定さを指摘しつつ、学校生活のサポートや授業の楽しさを評価する意見が多数。

批判者 (0-6): 学費の高さや設備の充実度、学科の信頼性やカリキュラムの変更に対する不安を持つ学生が多い。

健康医療科学部 理学療法学科

推奨者 (9-10): 先生方の優しさやわかりやすい授業、学べる内容の充実度を評価し、強く勧める学生が多い。

中立者 (7-8): 学費の高さや立地の不便さを指摘しつつ、教育の質やチューター制度の有用性を評価する意見が多数。

批判者 (0-6): 学部統合による目標の薄れや他大学との比較、学費の高さに対する不満を持つ学生がいる。

心理学部 臨床心理学科

推奨者 (9-10): 専門的な知識や技術の習得、実験設備やカリキュラムの充実度、先生方の親身な対応を評価し、強く勧める学生が多い。

中立者 (7-8): 大学の形式変更や立地の懸念を考慮しつつ、授業内容や学生生活の充実度を評価する意見が多数。

批判者 (0-6): 医療系を学びたい人がいない点を指摘し、勧めたくないとの意見がある。

国際看護学部 看護学科

推奨者 (9-10): 国際看護の学習や海外研修、美味しい学食の無料提供など、学習環境の整備を評価し、強く勧める学生が多い。

中立者 (7-8): 先生との距離感や学食の無料提供、国際実習の機会を評価しつつ、教育やスケジュールの整備不足を指摘する意見が多数。

批判者 (0-6): 国際看護学部の要素がない点や就職支援・国家試験支援の不足を指摘し、勧めたくないとの意見がある。

３３．大学生活で1番楽しかったことを教えてください。
詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

実習と研究: 薬局や病院での実務実習、卒業研究、実験などの実習科目が楽しかった。
友人との交流: 友人との放課後の雑談や学祭の調剤体験の手伝い、友達との日常生活が楽しかった。
学食と学園祭: 学食での食事や学園祭の参加が楽しみだった。

看護学部 看護学科

実習と勉強: 実習や国家試験の勉強、専門的な知識の習得が充実していた。
友人との活動: 友人との活動や日常生活、留学などが楽しかった。
学園祭とボランティア: 学園祭やボランティア活動など、多様な活動を楽しんだ。

健康医療科学部 作業療法学科

国家試験対策と友人との交流: グループでの国家試験対策や友人との遊び、学食での昼食など、学習と交流のバランスが充実していた。
学外活動: 学園祭やサークル活動、ボランティア活動など、多様なイベントを楽しんだ。
実習と就職活動: 実習や就職活動、国家試験対策を通じて、専門知識と実践力を高めた。

健康医療科学部 理学療法学科

友人との交流と学外活動: 友達と飲みに行ったり、部活やグループワークを通じて交流を深め、キャンプやクリスマス会などのイベントを楽しんだ。
学習と国家試験対策: 友人と一緒にテスト勉強や国家試験対策を行い、専門的な学習や実習を通じて知識と技術を向上させた。
学校生活全般: 授業や演習、ボランティア活動など、学校生活全般を通じて充実した時間を過ごした。

心理学部 臨床心理学科

ゼミ活動と研究: ゼミでの活動や卒業研究を通じて、興味のある研究内容を深く探求できた。
友人との交流: サークル活動や友人との旅行など、仲間と一緒に過ごした時間が大学生活で一番楽しかった。
学園祭の参加: 学園祭で他学部の施設を見学したり、出し物を楽しんだりすることができ、最も楽しめた。

国際看護学部 看護学科

学食と留学: 学食が美味しく、留学や海外研修を通じて多様な文化を体験できた。
実習と友人との交流: 実習やサークル活動を通じて、友人と共に学び、成長できた。
学園祭と国際実習: 学園祭の企画や国際実習での経験が印象深く、充実した時間を過ごせた。

３４．その他、何かご意見・ご要望がありましたらお書きください。
詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

学部の将来性と教育環境の改善: 学部閉鎖の決定に対する不満が示されており、教育機関としての責務を果たし、学生の不安を解消するための適切な対応が求められています。

施設環境の改善: 図書館や教室の利用環境に関する改善要望があり、アンケートを通じての意見収集が行われていますが、改善が見られないとの指摘があります。

看護学部 看護学科

学費の透明性: 学費の使途についての明確な説明が求められており、不信感が生じている場面が散見されています。

実習環境の改善: 実習中の学生が病院看護師から適切に守られることが期待されており、挨拶無視や放置、言葉遣い、態度などの問題が指摘されています。これらの問題は看護師としての基本的な態度に関わるものであり、改善が望まれています。

キャンパス環境の改善: 桜の花見イベントの実施や、Wi-Fi環境の改善、大学周辺の草刈りなど、キャンパス環境の向上が求められています。

感謝の意: 教職員への感謝の気持ちが表明されており、教育やサポートに対する感謝の意が示されています。

健康医療科学部 作業療法学科

該当記述なし

健康医療科学部 理学療法学科

特になし

心理学部 臨床心理学科

該当記述なし

国際看護学部 看護学科

学友会長の運営に関する不満: 情報共有の不足や、個人的な関係性に基づく態度の変化、サークル活動の提出書類に対する無視、命令的な態度などが指摘されています。

学費と施設環境の改善要望: 授業料やその他の費用が入学当初より増加していることに対する懸念が示されており、ネット環境や講義室の利用、医中誌webの同時利用者数などの改善が求められています。

国家試験対策の強化: 全員合格を目指すとしながらも、手厚いサポートが不足しているとの指摘があり、教員間でのサポート体制の強化が求められています。